

## 令和4年度:第9期事業計画

2022年4月1日～2023年3月31日

一般社団法人 日本寝具寝装品協会

Japan Bedding Goods Association

◆本年度はJBA基本方針に則り次年度節目となる第10期を控え、今まで様々な基幹となる事業計画の再点検を実施し、皆様のご支援を頂き基幹事業とした事業の積極的な推進活動を行っていく。

### 1.寝具寝装品の普及に関する事業（需要創出委員会、組織拡大・人材育成委員会）

(1) 経産省商務部ヘルスケア産業課の「健康寿命延伸創出推進事業」の方針に則り自主基準「ヘルスケア認定制度 TM」の普及活動を推進する。

- ・2019年国内健康寿命は、男性72,7歳、女性75,4歳と右肩上がりで世界でも高い。  
JBAでは、政府の健康増進法に基づき睡眠の重要性に沿って基幹事業として普及に向けて強化
- ・2025年には団塊世代800万人が高齢者となる為社会保障費の増加抑制が一段と求められ、個人にあった睡眠提案をヘルスケア認定寝具にて推進する。
- ・社会保障費の中でも医療保険の増加も大きく、要因として高齢者の在宅での介護増加もあり在宅介護者専用認定寝具の普及と情報配信も強化していく。
- ・一般社団法人日本福祉用具供給協会様の協力を頂き、会員様向けヘルスケア認定寝具の普及拡大に向け説明会等の開催を進め普及に努める。
- ・一般消費者、介護ショップ、介護施設の介護士等が介護当事者の相談に乗り、ヘルスケア認定寝具のアドバイスができるカタログ作成、BS放送とデジタルを連動した2分間情報番組を検討。

(2) 「羽毛原料・羽毛ふとんトレーサビリティ監査認証システム」普及推進事業（J-TAS協議会）

- ・消費者向け新「JBA:羽毛産地認証ラベル」の発行  
現在の「J-TASトレーサビリティ監査認証」（シリアルナンバー）は、羽毛ふとんに逢着し展開中であるが、新しく消費者への認知度向上の為「羽毛原料産地認証®ラベル」を秋の商戦に向けてスタートする。
- ・新ラベルは現在のシリアルナンバー縫着カードと新ラベルを一緒に付ける事を条件とし、価格は現在の逢着表示プラス新ラベルセットで少額に抑えた提案を6月総会でご案内する。尚ラベル規程の遵守、発注システム説明会での講習が必須となる。
- ・会員の一層の参加を促進図る為、本総会で小売店・EC向け店頭動画、小売店担当者、EC担当者向け動画(消費者向け、業界者向け教育動画)を紹介し、秋の商戦に活用頂ける様7月提供を目標に配布を開始する。

## 【J-TAS 新規参加概要】

- ▷JBA 会員は、J-TAS メンバーへの参加で低額提供、国内非会員の卸売業、羽毛ふとん製造業、羽毛原料商が入会の場合は、第三者認定委員会の承認を得トレーサビリティ発注システム講習参加
- ▷入会された企業は、自社の産地表示羽毛ふとんに全て縫着する事を条件とし、得意先小売店頭への配布を積極的に行うと共に、自社ホームページへ掲載、WEB 展開得意先への掲載、得意社員教育への配布を積極的に行って頂くと共に、自社 HP への掲載、得意先 WEB 掲載、自社社員教育での活用をお願いする。
- ▷現在トレーサビリティ認証を記しているラベルと、新たに作成した「JBA:羽毛認証ラベル」は必ずふとんに一緒に縫着する事が条件となる。(単価はナンバー承認縫着ラベル 1 枚/50 円)

### 2.寝具業界と親和性の高い関連団体、企業との連携を行う推進事業 (需要活性化委員会)

- (1)一般家庭及び在宅介護家庭から依頼されるふとん、まくら等の洗濯苦情防止の手法確立と各地普及が進むコインランドリーでの洗濯手法確立も進め、会員相互のビジネス拡大を目指す。
- (2)日羽協、全国ふとんクリーニング協会と進める事とした、地域にある業者間の新たなビジネスモデルを策定し、双方の業績に寄与出来る連携を図る仕組み作りを行っていく。

### 3.ふとん表示規程集の各種申請簡素化に向けた改定事業 (コンプライアンス委員会)

- (1) 昨年規程集は、罰則・違反行為を主な改定で提案し承認されましたが、今年度は申請者の煩雑さを無くす事を目的に、各種申請での必要とされない書類を廃止し一方で必要とされる書類の整備を 4 月までに行い 6 月総会で配布し、会員への改定版発行を総会后に行う。

### 4.寝具寝装品業界の振興を目的とした JBA と関連団体との協力事業

#### (1)SBI 睡眠環境寝具指導士 (Sleeping environment & Bedding goods Instructor)

- ・年間開催している「睡眠環境教育セミナー・2 回」「睡眠環境学会学術大会・1 回」「睡眠環境寝具指導士更新・新規加入試験・1 回」の定期開催を実施する。(コロナ禍の影響により変更あり)
- ・第 8 期から新設した「マイページ」の新規資格者への入力説明会を順次開催していく。

#### (2)健康寿命延伸関係団体との啓発運動参加と支援事業

- ・公財)神経研究所・睡眠健康機構と 9 月・3 月「すいみんの日」事業
- ・全国の中高を対象とした「睡眠の勉強会」学校教育への支援

- (3) 「J<sup>∞</sup>QUALITY」は、昨年一社)日本アパレルファッション産業協会(JAFIC)に移行しての事業
- ・ JQ 認定には、企業認証と商品認証があり、企業認証のみ取得したものの商品製造販売を行っていない企業もあることから、今後認証制度改定を JBA では JAFIC に申し入れを行っていく。
- (4)日羽協、全国クリーニング協会、コインランドリー会員企業と連携した新規事業
- ・ 第 8 期で検討会議の立ち上げを決め、今年度は新しいビジネスモデルの構築を進めていく。各地域にあるクリーニング店(FC チェーン展開企業含む)、寝具店、羽毛ふとんリフォーム業者との連動した仕組み作り進め、相互の売上増進となる様努めていく。一方消費者の近場にあるコインランドリーを利用したふとん類の洗濯研究も行っていく。
- (5)「クリーニング事業者寝具知識取得証書」の発行に向けた検討を行う。
- ・ (4)を実行していくうえで、必須となるのがクリーニング店様の一般寝具寝装品の知識の習得が必要となる為、新たに消費者への適切なアドバイスが出来る為の講座、試験方法等検討する。

以上